

(別添資料1)

事業所名

放課後等デイサービス オレンジ2

支援プログラム（参考様式）

作成日

7 年

3 月

日

法人（事業所）理念		発達に心配のあるお子様の今と ご家族の思いをサポートします							
支援方針		・遊びを通しコミュニケーション、社会性、基本的生活習慣の獲得 ・一人一人の特性に合わせた余暇活動 ・利用毎に個別療育・集団療育を受られる							
営業時間		13 時	30 分	から	16 時	30 分	まで	送迎実施の有無	あり なし
		支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	・基本的生活習慣の見直し、必要に応じて獲得をお行います（下校⇒オレンジ到着⇒身辺整理⇒個別療育（宿題等）⇒休み時間⇒おやつ⇒集団活動⇒帰宅の流れを習慣化します。） ・排泄時の始末や洗顔・歯磨き・保清をお子様ที่認識し取り組めるよう促していきます。（放課後・長期休み） ・おやつ…3種類提供し苦手なお菓子はスタッフに訴えたり、量を減らす等お願いする力や、解決する手立てを学びます。							
	運動・感覚	・身体全体を使って遊ぶ粗大運動⇒微細運動を存分に行ない運動機能の向上を目指します。また、苦手な動作や感覚や感触をスモールステップを踏みながら促していきます。また、苦手な活動はお友達が遊ぶ姿を見ることから始め、お子様が納得する機会やスタッフと一緒にすることで安心して参加できる環境づくりを大切にしています。 ・食事・おやつ…食事のマナーや始末を大切に和やかな雰囲気の中で食べることを大切にしています。おやつは3種類提供し様々な味や触感に触れる機会をつくります。							
	認知・行動	・一日のスケジュールや日課を見える化し、見通しをもち安心して過ごすことで自ら要求を伝えたり行動できる環境を整えています。 ・言葉や概念、数字やルールのある遊びを取り入れ認知機能を高めます							
	言語 コミュニケーション	・お友達やスタッフとかかわる中で相手に伝える事、伝わり反応がくる経験、また、言葉のキャッチボールを行える活動を遊びの中で経験していきます ・言葉や概念、表現方法を遊びの中に取り入れ、様々な言葉や気持ちの表現方法を学ぶ機会を設けます（言葉遊び・感想文等）							
	人間関係 社会性	・集団療育・親子参加のイベント・公共交通機関・外食や買い物体験を通し社会とのつながりや経験と実体験を積かさね社会性をはぐくんでいきます ・大縄跳び等、チームワークや達成感を味わう活動を繰り返していきます ・お友達と同じ時間や空間を可能な限り共有することで社会性を促します							
家族支援		・面談（年2回）・オンライン参観（年3回）・親子でオレンジ（不定期）				移行支援		入学（小学校・中学校）、地域お友達との交流（公園遊び）	
地域支援・地域連携		・お買い物体験・外食体験・戸外活動・クッキング				職員の質の向上		入社時研修・PDCAサイクルの実施・OJT研修・キャリアアップ研修・ICTソフト導入	
主な行事等		・夏祭り・クリスマス会・お買い物体験・外食体験・親子レク・ウィンターフェスティバル							